

皮下組織は塩分摂取 (Na) に対するバッファーとなっているという。透析患者を診ていても、同じ塩分摂取量であっても、体液増加への影響は均一ではないと感じるが、この背景に皮下組織の影響の違いがあるのだとすれば合点がいく。降圧目的でサイアザイド利尿薬を使用しても体液が大きく減少することはないし、多くの例では低 Na 血症が進行することもない。しかし、皮下 Na 貯蔵を勘案すればこの現象も十分に理解できる。生理学は医学の基本だが、であるがゆえに、臨床医がその基本を疑うことはない。だが、基本とされるものも先人が構築したものであることを考えれば、その基本も人によって塗り替えられていくのは当然かもしれない。前提を疑うことは簡単なことではないが、見方を変えると全く新しい世界が現出してくる。体液管理も、水と食塩の問題に加え、内分泌代謝系の問題ととらえた場合、患者の診かたも大きく違ってくるだろう。そのようななかから新しい治療やケアが生まれてくる可能性を期待したい。コロナ禍の喧騒のなかではあるが、本特集が日々の透析診療を静かに見直す契機となれば幸いである。

(中山 昌明)

2021 年 (Vol. 37) 特集のご案内

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------|
| No.① 腎性貧血治療のこれまでと、その新しい展開 | No.⑦ CKD 診療におけるビタミンと微量元素 |
| No.② 感染症と医療安全 | No.⑧ 透析医療における災害対策 |
| No.③ 透析看護分野の看護師の認定・研修制度と社会から求められるもの | No.⑨ 透析患者の消化管疾患 A to Z [増刊号] |
| No.④ 透析の開始・継続・見合わせ | No.⑩ CKD・透析患者の最近の知見による体液管理 |
| No.⑤ ダイアライザ・ダイアフィルタの今後を考える | No.11 シームレスな CKD 対策に向けての看護実践 |
| No.⑥ 看過してはならない不整脈 | |

(既刊は○)

臨牀透析® Vol.37 No.10

© 2021 年 9 月 10 日発行
定価: 2,860 円
(本体 2,600 円 + 税 10%)

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <https://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2021, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構 (☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

■ 広告申込所 / 株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541